

コスモス ニュースレター EMC & 安全

Cosmos Newsletter on EMC & Safety

発行日 2021-12-01

No. 137



株式会社 コスモス・コーポレーション Cosmos Corporation

〒515-1104 三重県松阪市桂瀬町 718 番地-1

<https://www.safetyweb.co.jp/>

記事の配列は、概ね、国際規格を最初におき、米、欧、オセアニア、アジアの順です。

コスモス ニュースレター EMC & 安全

目次

エグゼクティブサマリー Executive Summary	2
IEC: 規格解説: CISPR 32: 1 GHz 超放射妨害波許容値と測定法修正の妥当性について(2/2)	3
IEC: 新規格リスト	6
ISO: 新規格リスト	10
UNECE: 電磁両立性に関する統一規定: 国連規則第 10 号改訂 6 - 修正 1	11
UNECE: 電気自動車のバッテリー耐久性に関する国連 GTR 規制案を作成	12
国際テーマ: 米国が IoT のサイバーセキュリティラベリング制度を導入	13
国際テーマ: インドの通信機器認証の最新情報	14
国際テーマ: サウジアラビアが RoHS 要求事項を導入	14
国際テーマ: コスモス・ニュースから各国認証関連情報を再掲	15

USA: FCC: OET が Zebra Technologies 社の免除申請を許可: UWB デバイス	16
USA: FDA: 医療機器; 耳鼻咽喉用機器; 市販補聴器の規制カテゴリーを設定	16
USA: FDA: 医療機器のソフトウェア機能の市販前申請の内容; ガイドラインのドラフト	17
USA: OSHA: NRTL プログラムに適する試験規格のリストと一部の NRTL の認定範囲	18
USA: DOE: 省エネルギープログラム: 外部電源の試験手順	18
USA: DOE: 省エネプログラム: 最近の連邦官報による通知	19
USA: ANSI/UL: 新規格リスト	20
USA: IEEE: 新規格リスト	21

EU: 欧州委員会は無線デバイスと製品のサイバーセキュリティを強化: RED 委任法成立	23
EU: CENELEC: 新規格リスト	24
EU: ETSI: 新規格リスト	29
ニュージーランド: 無線送信機の供給ライセンス申請と供給者の義務	30

中国: SAMR: ガス供給および暖房に関連する特殊設備の安全作業の強化に関する通知	31
中国: CQC: 小中学校・幼稚園の教室用照明製品の省エネ認証規則の改正に関する通知	32
中国: CQC: 《高調波変流器検定規程》等 17 項目の国家計量技術規範発行に関する公告	32
中国: 新規格リスト	33
台湾: 「検査対象のプリンター・コピー機など 31 項目商品の関連検査規定」改正案通知	34
台湾: 「検査対象のヘッドホン商品の関連検査規定」の制定に関する予告通知	34
台湾: 「検査対象の電気鉛筆削り機など 22 項目の商品の関連検査規定」改正案の通知	34
台湾: 新規格リスト	35
韓国: RRA: 放送通信機材等の適合性評価に関する告示一部改正 (案) 行政予告	36
韓国: RRA: 海上業務用無線設備の技術基準の一部を改正告示	36
韓国: RRA: 放送通信機材等の適合性評価に関する告示	37
韓国: KATS: 電気用品安全基準 35 種制改正 (案) 行政予告	38

総務省: 「5.2 GHz 帯自動車内無線 LAN の導入のための技術的条件」意見募集	39
総務省: 周波数再編アクションプラン (令和 3 年度版) の公表	39
総務省: Beyond 5G 推進コンソーシアム国際委員会の活動状況と今後の進め方	40
経済産業省: 日本産業規格 (JIS) を制定・改正しました (2021 年 11 月分)	41
経済産業省: 「電気用品の技術上の基準を定める省令の解釈についての一部改正案」等	41
経済産業省: 電気用品の技術上の基準を定める省令の解釈の一部 (整合規格の採用等) 改正	42
経済産業省: 「次世代蓄電池・次世代モータの開発」プロジェクト: 研究開発等計画	43
経済産業省: 燃料電池自動車等の規制の在り方について、最終報告書を取りまとめ	44
国土交通省: 自動運転の普及拡大に向けた道路との連携に関する共同研究を開始	44

ちょっといっぴく〜小クイズコーナー 絵文字選択のシンボル	15
コスモス・コーポレーション: 自動車部品の耐水試験についてのご案内	22
社長の独り言	45

IEC: 規格解説: CISPR 32: 1 GHz 超放射妨害波許容値と測定法修正の妥当性について(2/2)

UNECE: 電気自動車のバッテリー耐久性に関する国連法案 GTR 規制を作成

- 国連グローバル技術規制（GTR）として開発された新しい規定では、電気自動車（EV）に搭載されるバッテリーの損失が5年または100,000 kmで初期容量の20%未満であり、そして、8年間または160,000 kmで30%未満であることをメーカーが証明するよう、要求している。
- 提案された規制の下で、バッテリーの状態と残りの容量に関する正確な情報は、車両の所有者が自由に利用できるようになる。これにより、使用済み/中古のEV取引やその他の車両所有者の変更に対して、貴重な情報が得られる。各車両は、無線データ送信等の手段を介して、関連する国または地域の当局にそれ自身のバッテリーの状態を報告する必要がある。

USA: FDA: 医療機器のソフトウェア機能の市販前申請の内容 ; ガイダンスのドラフト

- 米国FDAは、「医療機器のソフトウェア機能の市販前申請の内容」と題したドラフトガイダンスの公開開始を通知した。最終版が発行されると、これが2005年5月発行の「医療機器に組み込まれているソフトウェアの市販前申請の内容に関するガイダンス」に、取って代わる。

EU: 欧州委員会は無線デバイスと製品のサイバーセキュリティを強化する: RED 委任法成立

- 本日採択された無線機器指令 Radio Equipment Directive(RED)への委任法 delegated act は、「すべての無線デバイスが安全であること」をEU市場で販売される前に確認することを、目的としている。この法律は、サイバーセキュリティ予防手段の新しい法的要件を定めており、これは、製造業者が本件に関係する製品の設計と製造で考慮に入れる必要がある要件である。これは、また、市民のプライバシーと個人データを保護し、金銭詐欺のリスクを防ぎ、通信ネットワークの回復力を高めるものである。

総務省: 「5.2 GHz 帯自動車内無線 LAN の導入のための技術的条件」意見募集

- 陸上無線通信委員会報告（案）に対する意見募集ー「小電力の無線システムの高度化に必要な技術的条件」のうち「5.2 GHz 帯自動車内無線 LAN の導入のための技術的条件」ー

経済産業省: 「電気用品の技術上の基準を定める省令の解釈についての一部改正案」等

- 「電気用品の技術上の基準を定める省令の解釈についての一部改正案」等についての意見募集
 - 殺菌灯を有する電気消毒器(器体外に直接殺菌灯の光線を照射する構造のもの)の安全対策
 - LED ランプの雑音強さ(放射電磁妨害波)の見直し

経済産業省: 「次世代蓄電池・次世代モータの開発」プロジェクト: 研究開発等計画

- 「次世代蓄電池・次世代モータの開発」プロジェクトに関する研究開発・社会実装計画
 - 航続距離などに影響するエネルギー密度が現在の2倍以上（700~800Wh/L以上）の高容量系蓄電池（例：全固体電池）などの高性能蓄電池やその材料

社長の独り言

2021 年 11 月 14 日

濱口 慶一

新型コロナウイルスの国内での大流行も、国民の多くがワクチン接種を受けたことでようやく収まりかけてきたように感じるこの頃です。犠牲になられたたくさんの方に心よりご冥福をお祈り致します。

ワクチン接種後に亡くなられた方もいます。ワクチンが原因と断定はできませんが、非常時の中で十分な治験を行うことができずに走らざるを得なかった部分が影響しているかもしれません。ワクチンに限らず、どの時代でも何かを開発する時は、その裏で犠牲となる方がわずかであっても出てしまうことがあります。それは仕方のないことかもしれませんが、そのことによって人間のたゆまない技術開発とその確認作業に背を向けたり、怯んだりしてはならないと私は思います。絶対安全を確保しながらの米国のアポロ計画にも多くの犠牲がありましたが、そこで開発された技術が生かされており、今では民間人も容易く宇宙に出かけることも可能になりました。

イギリスの産業革命で蒸気機関が発明されたように、21 世紀の工業革命で日本が新しいエネルギー機関を発明して、この温暖化のスピードを少しでも鈍化させ、食い止めることが出来たらと思います。日本政府には、日本の若い技術者がこのことにチャレンジする、できる舞台を作ってあげて欲しいですね。EV より、現在の産業界に大きな変化を求めない水素エンジン車、燃料電池車あたりを追求することで何とか良いものが見つかるように思うのですが。

EV 自動車はおそらく中国に制覇されてしまうのではと強く懸念しています。プレス装置でのモータの回転子の製造、その回転子への自動巻き線作業、ケーシングも旋盤で削るだけの工程など、EV で進めると将来はほとんど自動ロボットで自動車の生産ができ、工賃の低いところでしか自動車の生産ができない状況になると思えるからです。日本は、温暖化の抑止につながる新しい自動車機関でこれを使い切っていただきたいと強く思います。

日本の若い技術者には、幸田亮一先生の著書、“ドイツ工作機械工業の 20 世紀”を一読していただきたいと思います。ドイツ工業会の世界戦略を身近に理解して、彼らの戦略に乗らずに、工業製品への日本独自の規格戦略を業界あげてひねり出し、関係する製品安全規格などに彼らの要求を盛り込まれない対応が必要だと思います。しかしながら、自動車関連の規格にはとうとう、ドイツ自動車工業会（VDA）の規格が組み込まれてしまいました。排除するなどとは言いませんが、日本のきめ細やかな要求も随所にいれて欲しかったと思います。

さて、長岡技術科学大学でのシステム安全工学専攻は後期に入りましたが、多くの課題を要求され、インターネットでの調査なども行い、自分の考えを短時間でまとめなければならないので大変です。また、高校でも一応勉強はしているはずの微分、積分、論理式などが出てくると解答への意欲がしぼんでしまいます。特にオンラインでの試験で解答を Word で入力する際、計算式の入力方法がわからないまま時間が経過することもあります。担当教授の温情（？）で反省レポートを提出しているところで、これからまだまだ苦労しそうです。

● ニュースレターの内容

本誌は、EMC、安全、及び省エネ (EMC, Safety and Energy Conservation) 分野に係り、世界の主要機関/地域により実施されかつ電気電子製品デバイスに適合が求められている規格/法規制について、その関連情報を、お届けいたします。

重要情報を幅広く調査、収集、かつ、要約して掲載し、当該分野の最新情報、潮流をすばやく捉えることができるようにいたします。情報源を明示しますので、貴殿の関心により、更に深い調査が可能です。

本誌は各国への技術法規適合製品を試験 認証 開発 管理される部門の方にとり必読の内容です。

- 対象機関/地域: IEC 等国際機関、並びに、FCC, UL を含む米国、EU 及び UK, CENELEC, CEN を含む欧州、その他オセアニア、及び日本を含むアジアの各地域
- 情報源: カバー対象の機関、地域の Web site、或は情報サービス。又、ご協力のご同意を頂いた日本国内及び米国・欧州・中国・韓国・台湾などの当該分野権威者から提供された情報。

● 本誌購読のお申し込み方法

コスモス・コーポレイション CS 部 (カスタマーサービス部) まで Yamashita-jun@cosmos-corp.com
Tel 0598-30-5225 Fax 0598-30-5571

- 発行: 年間 11 回発行。各号 A4 版、40 ページ前後。
- 価格: 各号 2,000 円 (年間購読の場合 1 年 11,000 円)(消費税込)

● 本誌の内容案内、ご購入案内は、<https://www.safetyweb.co.jp/services/other/publication/>

本誌の記事が正確であるよう最大の努力を払っておりますが、間違いが含まれていることがあるかもしれません。本情報をご使用になられる場合はご自身でもう一度ご確認ください。

株式会社コスモス・コーポレイションは、下記 Web site の運営体からそれぞれ個別の条件の下、Web 情報の引用、転載につき許可を頂いております。翻訳転載された記事の著作権は原著作権者に属します。本誌掲載記事の無断転載を禁じます。本誌の複製、再配布は電子的なものを含み禁じます。

国際機関	IEC: International Electro technical Commission	国際電気標準会議
米州	A2LA: American Association for Laboratory Accreditation	米国試験所認定協会
	ANSI: American National Standards Institute	米国規格協会
	FCC: Federal Communications Commission	連邦通信委員会
	IEEE: Institute of Electric and Electronics Engineers	米国電気電子学会
	CSA: Canadian Standards Association	カナダ規格協会
欧州	CENELEC: European Committee for Electro technical Standardization	欧州電気技術標準化委員会
	ECO: European Communications Office	欧州通信オフィス
	ETSI: European Telecommunications Standards Institute	欧州電気通信標準協会
	EU/EC: European Union/European Commission	欧州連合/欧州委員会
オセアニア	ACMA: Australian Communications and Media Authority	オーストラリア通信/メディア局
	NZ: New Zealand Government Radio Spectrum Management	ニュージーランド政府 RSM
アジア	BSMI: Bureau of Standards, Metrology & Inspection	台湾經濟部標準檢驗局
	CNS: Chinese National Standards Online Service	台湾中国国家規格検索システム
日本	METI: Ministry of Economy, Trade and Industry	経済産業省
	MIC: Ministry of Internal Affairs and Communications	総務省
	NPB: National Printing Bureau	独立行政法人国立印刷局
	VCCI: Voluntary Control Council for Interference	一般財団法人 VCCI 協会

Cosmos Corporation is granted the copyright authorization for the reproduction of the Web site information from the above listed organizations with the individual condition. Further use, modification, redistribution of the information on the Cosmos Newsletter on EMC & Safety is strictly prohibited.

コスモス ニュースレター EMC & 安全 (Cosmos Newsletter on EMC & Safety) 2021-12-01 (No. 137)

発行所: 株式会社 コスモス・コーポレイション 本社・松阪事業所

住所: 〒515-1104 三重県松阪市桂瀬町 718 番地 1

ホームページ: <https://www.safetyweb.co.jp/>

発行人: 濱口慶一

編集人: 倉口光雄 iNARTE 認定 Certified EMC Engineer (EMC-002315-NE)

© 2021 株式会社コスモス・コーポレイション Cosmos Corporation

本誌の複製、再配布は電子的なものを含み禁じます。